

科目区分：外国語科目（英語）

| | | | | | | | | |
|---|---|-----|-----|----------|----|-------|-----|-----|
| 授業科目名 | 総合英語 | | | | | 学期 | 曜日 | 校時 |
| 英語名 | Comprehensive English | | | | | | | |
| 担当 教員名 | 吉村 宗司 | 単位数 | 1単位 | 必修 選択 | 必修 | 前期 | 水曜日 | 5校時 |
| 授業のねらい・内容・方法 | | | | | | | | |
| <p>対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤にもつことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。</p> <p>本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語（米語）—必要最低限の英語（米語）—を徹底的に学びながら、その音声的特徴について解説し、『音法』に則したトレーニングを実践することによって、聴解力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。</p> | | | | | | | | |
| テキスト、教材等 | | | | | | | | |
| <p>(1) 英語リスニング聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）</p> <p>(2) American（ハンドアウト教材）</p> <p>(3) アメリカの生活と文化（VTR教材）</p> | | | | | | | | |
| 対象学生 | 成績評価の方法 | | | | | 教員研究室 | | |
| T j | 定期試験、出席状況、参加意欲（トレーニングの状況や受講態度）等の総合判定によって評価を行なう。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| <p>第1回 オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか）</p> <p>第2回 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』 分析結果の報告と対策法について</p> <p>第3回 母音、子音、調音点、閉鎖音についての解説 / 『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）</p> <p>第4回 [t][d][g]の脱落 / [t][d]のラ行音化 / 連結しない場合の[l] / [h]の脱落</p> <p>第5回 『同化』を聞き取るパターン（半母音[j]に絡む音変化）</p> <p>第6回 『同化』を聞き取るパターン（[n]の後続音への影響）</p> <p>第7回 [r]の発音 / 『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン</p> <p>第8回 『閉鎖音の連続』を聞き取るパターン / 『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン</p> <p>第9回 On an Airplane（機内での会話）</p> <p>第10回 On an Airplane（機内での会話）</p> <p>第11回 At an Airport（入国審査・税関での会話）</p> <p>第12回 At an Airport（入国審査・税関での会話） / VTR 視聴（空港と飛行機の旅）</p> <p>第13回 Taking a Taxi（タクシー利用時の会話） / VTR 視聴（タクシーの利用術）</p> <p>第14回 Taking Public Transportation（地下鉄・バス利用時の会話）</p> <p>第15回 At a Hotel（ホテルでの会話） / 洋楽を聞き取る / 総括</p> | | | | | | | | |
| <p>毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。</p> | | | | | | | | |
| <p>質問受付時間：授業の前後（16:00~16:10 / 125 教室）</p> | | | | | | | | |